

◆ 目次

1 九州運輸局ホームページアップ情報（4月10日～4月16日掲載分）

- ・分野別情報
- ・各種情報
- ・各種手続き

2 現場レポート

- ・大型外航クルーズ客船、佐世保港初入港！

3 着任挨拶

4 イベント情報

1 九州運輸局ホームページアップ情報

（4月10日～4月16日掲載分）

----- 分野別情報 -----

《バス・タクシー・トラック》

◆バス（バスの申請・処分状況 3月分掲載）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/bus/bus_syobun2603.pdf

◆タクシー（タクシーの申請公示状況 4月11日公示分掲載）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/taxi_kouji260411.pdf

◆トラック（トラックの申請・処分状況 3月分掲載）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/truck/truck_syobun2603.pdf

----- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

◆企画競争実施公示（平成26年4月15日分まで）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

◆物品・役務入札公示（平成26年4月15日分まで）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

----- 各種手続き -----

《海技試験制度・合格発表》

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kaijoanzen/file05_01/sougou_260415.pdf

2 現場レポート

◆大型外航クルーズ客船、佐世保港初入港！

平成26年4月4日（金）、佐世保港に初めて外国籍の大型外航クルーズ客船が入港し、記念式典が開催されました。

佐世保市では「三浦地区みなとまちづくり計画」の下、三浦岸壁（千尽町）の耐震強化工事、浚渫工事等を推進してきましたが、佐世保港開港125周年に当た

る本年4月1日に供用が開始されました。佐世保市では、7万7千トン級の大型客船が着積可能な三浦岸壁の完成に当たり、精力的にクルーズ客船の誘致活動を展開した結果、外国籍大型クルーズ船としては初めてオランダ船籍の「フォーレンドム」（61,241トン、全長238メートル）が入港することとなりました。

入港当日は風が強く入港中止基準に抵触しないか関係者一同懸念していましたが、何とか基準内に風も収まり、無事に予定どおり入港しました。入港当日、岸壁には、地元の特産品を扱う露店が立ち並び、観光案内所も開設され、また、「佐世保バーガーボーイ」、「がんばらんぱくん」、「らんぱちゃん」といったゆるキャラなどもお出迎えし、歓迎ムード一色の中、記念式典が開始されました。

式典では、朝長則男佐世保市長の歓迎挨拶に続き記念品贈呈や祝いの鏡開き等が行われ、クルーズ振興、インバウンド促進を後押ししてきた立場から来賓として出席した久保田九州運輸局次長からは、本船のJeron Baijens船長に対し記念品として有田焼の皿を贈呈しました。

今回のクルーズは、3月31日（月）に神戸港を出港後、横浜、濟州島（韓国）を巡り、佐世保港寄港後、横浜へ向かうという6泊7日のチャータークルーズ（乗客1,351名（4月2日時点）、船員608名）で、佐世保港で下船した乗客は、HTB（ハウステンボス）や九十九島などを巡るオブショナルツアーを楽しみ、午後4時頃、大勢の佐世保市民が見送る中、横浜港へ向かいました。

佐世保港には、今回の「フォーレンドム」の寄港を皮切りに本年10月までにさらに「コスタ・ビクトリア」、「飛鳥Ⅱ」、「ぱしふいっくびいなす」の寄港が予定されており、佐世保海事事務所としても佐世保市ほか関係機関等と連携を図りながらクルーズ船の誘致の支援等交流人口の拡大や地域の活性化が図られるよう努めていくこととしております。

※大型外航クルーズ客船、佐世保港初入港の様子は下記URLからどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_258_1.pdf

【長崎運輸支局佐世保海事事務所】

3 着任挨拶

今般、総務部長を拝命しました山口と申します。辞令をいただき、じわじわとその重責を感じています。

総務部の任務は、企画二部のほか陸海の関係五事業部、支局、事務所がスムーズに業務を遂行できるよう、そのための環境づくり、所謂、予算と人事を担当し、また、指揮官である局長及び局次長のアシスト役として、局全体の調整任務などを仰せつかることも多いのではないかと考えています。特に、昨今は危機管理にかかる組織のあり方や役割について、職員の認知度を高めていくことが重要な課題だと思っています。

陸運局、海運局時代から、運輸局に移行して早くも30年になります。諸先輩から受け継いだ良き伝統を守りつつ、時代の変化にも対応できる柔軟性とスピード

感をもって職責を果たして参りたいと思っています。

行き届かず、至らないことも多々あるかと思いますが、皆様のご指導ご鞭撻とともに、相も変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

九州運輸局総務部長 山口 茂樹

4月1日付けで交通環境部長を拝命致しました杉町でございます。

前任地の佐世保海事事務所では、地域の雇用と経済を支える海事産業の3本柱ともいえる、離島航路の維持・確保、造船業・船用工業の振興、船員労働環境の改善などで、現場力の発揮を必要とされる業務を所管しておりました。

その中で、九州運輸局が目指すべき方向性として、観光の振興とともに、昨今の事情から、運輸部門での安全と安心の確保【船舶検査、運航監理等の品質保持、生活交通（災害時物流）の確保など】、加えて、環境保全【地球温暖化対策など】に向けた取り組みが重要であると再認識しているところです。

交通環境部では、モード横断的に、交通環境施策の推進、交通のバリアフリー化・情報化の推進、物流（倉庫業）の振興などを主たる業務としております。

皆様方のご理解とご協力を得ながら、様々な施策を総合的に推進して行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

九州運輸局交通環境部長 杉町 敏紀

4 イベント情報

◆2014九州ボートショー in 福岡

日時：4月19日（土）～4月20日（日）

場所：福岡市東区大岳 福岡マリーナ

概要：いよいよ、マリンシーズンが到来！ボートショーでは、様々なイベントが満載です。ご家族で、カップルで、仲間同士で、遊びに行きませんか？

5月17日（土）～18日（日）は熊本市熊本新港で「2014熊本ボートショー」、5月24日（土）～25日（日）は長崎市福田本町長崎サンセットマリーナで「2014長崎マリンフェスタ」が開催されます。

詳しくは、九州ボートショーHPをご覧ください。

<http://www.marine-festa.com>

◆2014長崎帆船まつり

日時：4月27日（日）～5月1日（木）

場所：長崎県長崎市長崎港（長崎水辺の森公園、出島ワーフ周辺）

概要：長崎港に国内外から数々の帆船が集結する帆船イベントです！期間中は、ライトアップのほか、打ち上げ花火、参加型イベントなど、もりだくさん！

◆第13回椎葉の四季フォトコンテスト

日時：4月1日（火）～8月31日（日）

場所：椎葉村周辺

概要：椎葉村では「第13回椎葉の四季フォトコンテスト」を開催中です。腕に覚えの方は、如何・・・詳細は、椎葉村観光協会HPをご覧ください。

//////// 編集部より //////////////////////////////////////
先週頃から通勤で利用している公共交通機関に学生さんの姿が戻ってきました。新学期が始まり慣れ親しんだ制服を身にまとった先輩たちに紛れて、少しぎこちなく感じる新入生の姿がとても初々しく感じます。

私たちの職場にも数名の若者が、新たに採用となりました。最初は不安そうだった彼らも、少しずつ職場の雰囲気慣れたようで笑顔が多くなったように見受けられます。

彼らは、数年後には、私たちの職場の第一線で九州の運輸・観光行政に携わっていくこととなります。これからどのように育っていくか楽しみです。
「フレー フレー 若者諸君!!!」

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm
■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html
■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）
mail: mm-kyushu@gst.mlit.go.jp
Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
